

第2回生体恒常性とストレス応答セミナー

生体超分子ナノマシンの機能構造の解明にむけて ー電子顕微鏡法とX線回折法のポテンシャルー

大阪大学大学院生命機能研究科

教授 難波 啓一 先生

日時：2010年 1月26日（火）

17:30～19:00

場所：霜仁会館3階セミナー室

難波教授は、X線構造解析、極低温電子顕微鏡、光学顕微ナノ計測などの先端技術を駆使して、蛋白質の構造を原子レベルで解析し、機能解明を進めておられます。特に、細菌の鞭毛を対象にナノ構造構築機能、形態変換スイッチ機構、高速回転分子モーター作動機構、エネルギー変換機構などを明らかにされ、4報のNatureをはじめScience, Proc.Natl.Acad.Sci.など数多くの一流誌に掲載されておられます。これらの成果は、ナノ構造構築技術や超高効率微小エネルギー変換などバイオナノテクノロジーの基盤として注目を集め、NHKスペシャルなどでも超分子ナノマシンが巧妙に働くCG映像が紹介されています。今回のセミナーでは、これら超分子ナノマシンとしての鞭毛の超微細構造解析と機能の話と共に、最新の超微細構造解析技術についてもお話しいただけるとと思います。

主催：山口大学研究推進体「ストレス」

問い合わせ先：分子薬理学（薬理学）乾 誠（2217）

